

広島平和記念事業報告会と被爆体験伝承講話会

戦争や核兵器の悲劇を風化させず、多くの人に知ってもらいたい

広島平和記念事業の参加児童3名が作文を発表

8月24日あいこうか市民ホールにおいて、甲賀市平和祈念戦没者追悼式と「戦後80年語り継ぐ平和の集い」が行われました。日本共産党甲賀市議員団の3名も参加しました。今年の広島平和記念事業には、小学6年生15人が広島平和記念式典に参列。この日、3名が代表して作文を発表しました。

●：「原爆という名前は知っていましたが、被爆者の方の話聞いて想像以上に恐ろしいものであることを知りました。地上600mで爆発した原爆は、爆風で多くの建物を壊し、熱線で重度のやけどを仰せ、多くの方の命を奪いました。また、放射線の影響で、生き延びたものの後遺症で苦しんでおられる方がたくさんいたことも知りました。私たちの役割は戦争や核兵器の悲劇を風化させず、多くの人たちに知ってもらえるようにしていくことだと思います」

●：「平和記念資料館では戦争に行つた人が最後に残した言葉や戦争で焼けて穴が開いた服、時が止まった時計などがあり、戦争はすごく怖いと思いました。被爆者の方の話はこの2日間特に僕の心に残りました。戦争は絶対にあつてはならない。平和事業で学んだことを、一人でも多くの人に伝えていきたい」



被爆体験伝承講話会で語る今石克久さん

「安らかに眠って下さい 過ちは繰返させぬから」の碑に心が締め付けられそうな気持ちになりました

●：「被爆体験伝承講話会は、被爆者の高齢化が進み被爆体験をお話しされる方が少なくなっている中、被爆体験を語り継ぐために広島平和文化センターが養成し派遣している事業です。被爆体験伝承者の今石克久さんは、50人以上の被爆者の方からお話を聞き、19歳の時に被爆し96歳でなくなった新宅勝文さんの体験を話していただきました。お話を聞く中で、被爆当日と翌日の悲惨な情景も浮かびました。」

●：「当たり前の暮らしは平和であつてこそ。80年目の夏、二度と戦争をしてはいけないという思いを強く持った取り組みでした。」

公共交通をどう守るか 岡山市に学ぶ

日本共産党湖南地区議員団が視察研修

- 運転手確保のために二種免許取得に補助
- 65歳以上高齢者と障がい者に、運賃半額割引
- 市内共通のICカードシステムを整備

岡山市では、バス路線の維持・拡充にむけて、需要に応じて幹線と支線に分割、幹線は民営民営とし、支線は採算性が厳しいので公設民営方式を導入し、小型バスと乗用車タイプのミニバンの2種類で運行すること。運行経費を削減できるうえ、中型・小型2種免許で運転できるため運転手確保のハードルが下がります。さらに1年目は試験運行と位置づけ運行経費の全額を、2年目からは65%を上限に市が支援。同時に、需要に見合った効率的な運行形態と徹底した利用者目線で利便性を向上させるのが狙いです。それらを「岡山市地域公共交通利便



新規路線を走る支線バスに試乗する日本共産党湖南地区議員団(8月20日岡山市内)

9月2日から5日まで一般質問

《山岡光広議員》9月3日(水)3番目

- ① 居所不明(失踪中)高齢者の預金通帳から後期高齢者保険料を差し押さえ! 地方自治体がすべきことか
- ② 自治振興会制度の見直し、特に自治振興交付金の見直しについて
- ③ 第二次甲賀市小中学校再編計画 特に特認校のよさをどう生かすのか
- ④ 市役所女性トイレに生理用品を第2弾

《岡田重美議員》9月3日(水)5番目

- ① 被爆80年の年 日本政府が核兵器禁止条約を批准、市の平和事業を推進することについて
- ② 女性相談支援員について
- ③ 南土山地先における安定型産業廃棄物最終処分場建設計画について
- ④ 荒廃した茶園の対策について
- ⑤ 旧東海道士山大野間のカラー舗装の修繕について

《西山実議員》9月5日(金)2番目

- ① 水口城址お堀周りの巨木の伐採を含めた抜本的な管理を
- ② 小中一貫校の推進問題について
- ③ 空き家対策の強化、住宅リフォーム補助の拡大を
- ④ 地域公共交通「岡山モデル」について
- ⑤ 市営住宅の周辺環境の適切な管理を

日本共産党

甲賀市議員団ニュース

2025年 8月 31日 第551号



山岡 光広
甲南町森尻 16
TEL 86-2985
Fax 86-0415



岡田 重美
土山町南土山甲 78-15
TEL 66-0696
Fax 66-0696



西山 実
水口町本丸 3-28
TEL 62-3044
Fax 62-3044